

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



「住民と事業所のつながりづくり」について話し合いました！

地域では町内会やボランティアグループなどを中心に見守り活動や居場所活動などが行われていますが、役員の高齢化、担い手不足といった課題に加え、コロナ禍により新たな課題も出てきています。

地域と事業所が連携することで課題解決を図っている事例を参考に、令和 5 年 2 月 13 日（月）に開催した地域ケア推進会議（協議体）では、住民と事業所がつながる機会をつくるために行う“交流会”の内容について話し合いました。



交流会の内容

- 事業所のPRができる機会、ボランティア・社会貢献活動発表の機会を設ける。
- 地域の課題を知ってもらう機会を設ける。
- 地域も事業所も Win-Win になるような内容がいい。

交流会に参加してほしい事業所など

- 地域貢献活動に積極的な事業所
- 移動販売、配達サービス、見守りや生活支援を兼ねた弁当の配達サービスなどの買い物支援を行っている事業所
- シルバー人材センター、民間の家事支援事業所、町内会、有償ボランティアなど、生活支援を行っている事業所や団体など



その他

- 活動を通して、事業所と住民、住民同士のコミュニケーションが生まれるといい。
- 事業所の活動をまとめた情報誌の作成・周知をお願いしたい。

会議でのアイデアを踏まえながら、令和 5 年秋頃に地域住民と事業所の方が交流する機会を設ける予定としています。

また、地域貢献活動や地域活動のサポートをしてくださる企業の登録も随時受け付けています。詳しくは地域サポーター募集のチラシをご覧ください。地域活動の応援をお願いいたします！

地域サポーター
募集チラシはこちら ↓

(表) (裏)

地域サポーター
事業所用登録フォームは
こちら ↓

令和4年度後期 活動報告

令和4年10月～令和5年3月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。



「ふくしのまちづくりプロジェクト」

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。

桜丘一町内会

令和4年9月に行った70歳以上の方を対象としたアンケート結果を踏まえて、令和4年11月と令和5年2月にそれぞれ話し合いを行いました。

話し合いでは、買い物支援の必要性や難しさ、相談相手がない人への対応の必要性、ゴミ出しの課題等、多くの意見が出されました。話し合いを重ねた結果、生活支援等を行うチーム作りが必要という一つの方向性が打ち出され、チームで行う活動の範囲や構成員、活動の周知やボランティア募集等の内容を決めていく予定となっています。

この地域に住んで良かったと思える地域づくりを目指し、生活支援コーディネーターとしても今後関わりを継続していきます。

また、訪問看護事業所から健康に関する相談会・健康講座と買い物支援を組み合わせた活動を地域で実施できないかと相談がありました。アンケート結果で「買い物に困っている」という声が一定数あったためマッチングを行い、2月4日（土）に地域と事業所がコラボした活動を行いました。



【野菜の移動販売】



【乾物の販売】



【健康に関する相談会】

参加者の感想

- 和気あいあいとして久しぶりに会う人もいて良かった。
- 利便性を感じました。
- 健康講座での「野菜と免疫・便秘解消」のお話が勉強になりました。



「移動販売試した Car」

坂が多い地域や高齢化に伴い「運転免許証を返納して日々の生活に困っている」「公共交通機関を利用するにも時間や本数が限られている」といった声も聞かれます。

そこで、他市町村での取り組みを参考に、移動販売のお試し会を希望される町内会を募り、町内会とお店のマッチングを行いました。マッチングがうまくいかず開催に至らない町内会もありましたが、3町内会で移動販売のお試し会を行いました。

【坂瀬町内会】

開催日：2月21日（火）
うきうきルーム終了後
参加者数：約30名

近くのスーパーが廃業して買い物に困っている人が多いと思うが、需要がどの程度あるのか分からないので一度お試したいとの声があり、実施しました。



【桜丘中央町内会】

開催日：3月3日（金）
いきいきサロン終了後
参加者数：約20名

坂が多い地域で、高齢化率も高く、免許証を返納されている人もいます。買い物に困っている高齢者も多いのではないかと声があり、実施しました。



【志免五町内会】

開催日：3月17日（金）
うきうきルーム終了後
参加者数：約10名

近くのスーパーも閉店し、一部は急な坂があります。坂瀬町内会の活動を参考に、志免五町内会でも開催したいとの声があり、実施しました。



参加者にアンケートをとったところ「お楽しみ要素として移動販売に来てほしい」という意見が多く、「買い物支援が必須」という人は少数でした。現在は、ご自身で車を運転したり、徒歩やバス等を活用したり、子どもの協力を得て買い物に行かれている方が多いようです。

アンケート結果や当日の様子を踏まえて継続的な実施を希望された2町内会に対し、定期的に移動販売車に来ていただけないか調整を行っています。





「居場所活動の紹介」

志免町では町内会やボランティア団体を中心となり居場所活動を行っています。今回は事業所が主体的に行っている居場所活動を見学しました。



【シルバーカフェ】

志免町シルバー人材センター主催で、高齢者の居場所づくりや交流のため、シルバーカフェを偶数月に開催されています。女性部会が中心となり、当日の運営や企画等をされています。

飲食物を持ち込んだり、たてこう房レガロの飲食物を注文・購入することもできます。

志免町在住であれば、会員以外の方も参加できます。

開催日時	: 偶数月 第3土曜日 14時～16時
場 所	: シルバー人材センター 会議室
参加費	: 無料



国内で新型コロナウイルス感染症が広がってからは、居場所活動は中止となったり、感染防止策や外で行う等の工夫をしながら開催されてきました。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられると共に、地域福祉活動の再開も期待されます。

居場所活動を通して、健康づくりや介護予防、地域の方や友人とも交流、つながりづくりができます。皆さんも参加してみませんか？

募集中!

①「買い物支援協力店」情報誌掲載事業所

食料品・日用品の宅配、移動販売、買い物代行を行う事業所等の情報を集約した情報誌を作成するため、情報誌に掲載いただける事業所を募集しています。



↑ 募集チラシはこちら

②「社会参加・交流の場一覧表」サークル情報の掲載

公民館や公共施設で行われているサークル活動等を紹介する「社会参加・交流の場一覧表」に掲載いただけるサークルを募集しています。

※両方とも、住民の方への情報提供を目的に作成します。詳細は生活支援コーディネーターまでお問い合わせください。

生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL : 092-937-3011